

食べもの、何を食べていますか？

豊かな国、ニッポン！ あなたは何を食べていますか？

食卓にあふれる食べもの。ご飯にパンに、麺類。野菜に肉に、魚介類。果物に菓子……。その多くが海外から輸入され、日本の食卓は大きく世界に依存しています。いまや、日本の食料自給率はわずか40%（カロリーベース換算）。ほかの主要先進国はどのようなのでしょうか。ドイツは91%、アメリカは119%の自給率を誇っています。

確かに日本も40年前、1965年当時は73%でした。にもかかわらず、急激に下がった理由は、国内の生産が減ったこともあります。それ以上に、わたしたちの食生活が変化したことにあります。

まず、主食である米は現在、自給率が95%にもかかわらず、その消費量は格段に落ちています。そして、油の消費が増え、国内で大量生産が困難な、油の原料である大豆やなたねの栽培を海外に頼らざるを得なくなりました。それと同時に、肉類の消費が増え、牛など畜産物のエサ（飼料穀物）の多くを海外に依存していることが、自給率を低下させた主な原因です。毎日の食卓を見直すこと。それは、日本の未来につながっています。

食料自給率40%——どう思いますか？

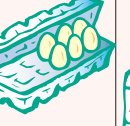
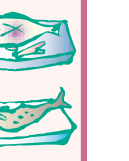
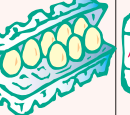
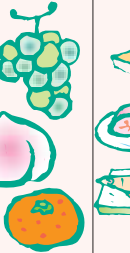
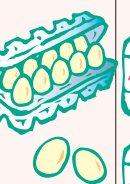
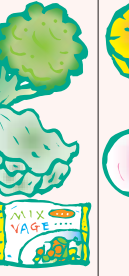
食料自給率40%という低さをあなたはどう思いますか？ 2003年に、農林水産省が全国の農業者と消費者にアンケートを取ったところ（回答者数：農業者2,667人、消費者1,294人）、「非常に不安」と答えた人は、農業者で約6割、消費者は約4割いました。「ある程度不安」も含めると、両者ともに9割以上が「不安」と回答しています。

また、農業者で9割、消費者で8割の人が、食料自給率を「大幅に引き上げるべき」と言っています。そして現在、農林水産省では、2010年までに食料自給率を45%にする目標を掲げています。

40年間で変化した食

気がつけば、わたしたちの食生活はこんなに変化しています。
ご飯は減り、肉類が増え、油の消費が増えています。

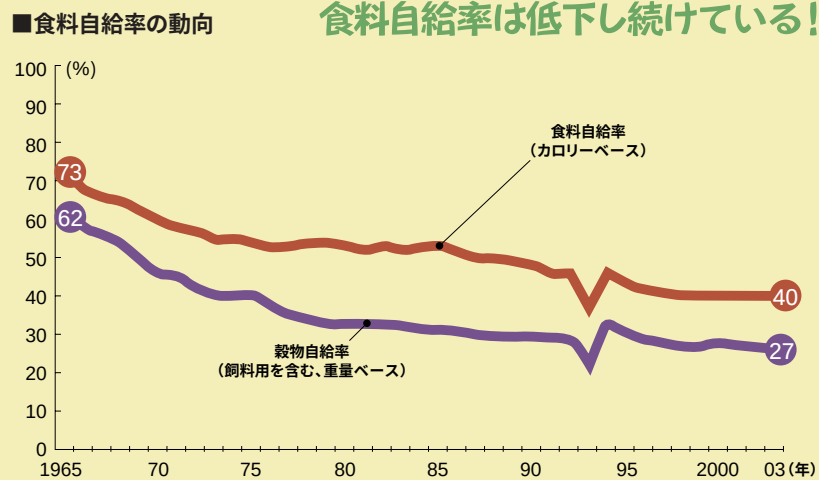
■食事と食料消費量の変化

	ごはん	牛肉料理 (1食150g換算)	豚肉料理 (1食150g換算)	たまご	牛乳 (牛乳びん)	植物油 (1.5kgボトル)	野菜	果実	魚介類
昭和40年当時 ※ 73%	 1日5杯	 月1回	 月1～2回	 2週間で 1/2パック強	 週に2本	 年に3本	 1日300g程度 (重量野菜多い)	 1日80g程度 (りんごが3割)	 1日80g程度
昭和62年当時 ※ 50%	 1日4杯	 月2～3回	 月6回弱	 2週間で 1/3パック弱	 週に4本	 年に8本	 1日310g程度 (緑黄色野菜増加)	 1日110g程度 (みかんが3割)	 1日100g程度
現在 ※ 40%	 1日3杯	 月4回	 月6回	 2週間で 1/3パック強	 週に4本	 年に9本	 1日260g程度 (緑黄色野菜以外は減少)	 1日110g程度 (その他が6割)	 1日100g程度

※食料自給率はカロリーベース自給率

DATA データで見るニッポンの食

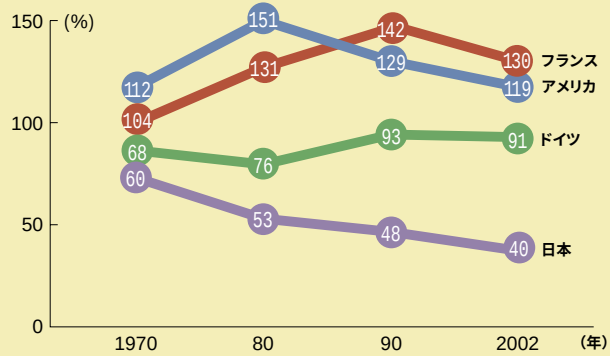
食料自給率は低下し続けている！



資料：農林水産省「我が国の食料自給率（平成15年度食料自給率レポート）」

ほかの国と比較してみれば……

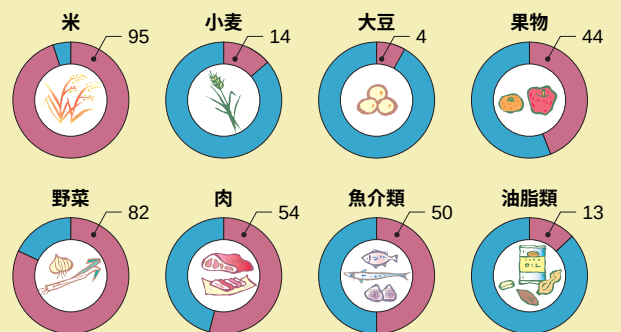
■主要先進国の食料自給率（カロリーベース）



資料：農林水産省「我が国の食料自給率（平成15年度食料自給率レポート）」

主な農産物の自給率を知っていますか？

■主要農産物の品目別自給率（平成15年）



資料：農林水産省「我が国の食料自給率（平成15年度食料自給率レポート）」